

マラソン用の時計が見つからない。
どどここ?(T_T)の川崎先生。

★運動会に想う・・・ちょっと長くなります(_)>: その2★

・よっちょれソーラン 2018。ひとつの大きな見せ場。川崎も娘が小学校のころ、これを見るのが楽しみだった。一生懸命踊っている。だけど微妙にずれる。これがまた何とも言えずかわいい。2年生は動きがサマになってソーランらしくなってくる。3年生になるとさすが。動きがそろっていてきれい。3年間の成長の過程が見えるソーランでした。

・2年生親子競技。よかった～。子どもにおぶさるお父さんお母さんがいなくて。さすがにそれは無理ですね。おんぶされてうれしそうな2年生の笑顔。まだまだ2年生も子どもなんだなあ～と再確認。

・ソーランW2018。かっこいい、かっこいい、かっこいい、かっこいい。いいなあ、いいなあ、いいなあ。来年一緒に踊ろうかな。

・1年生親子競技。あの～、結構子どもさん振り回されていましたが！でもまあ、おんぶされて、抱きかかえられて、そんな中での1年生のニコニコ顔。もうそれだけで十分です。ごちそう様。

・3, 4年リレー。やっぱりリレーは興奮する。走る前は選手も心臓バクバクだけど、走り出してしまえば、自分のため、仲間のために全力疾走。得意な人も苦手な人も、誰かが支えてフォローする。みんなが全力、だから見ていると興奮する。

・5, 6年リレー。高学年のリレーは見ごたえ十分。とりわけバトンパスが上手。思わず手に汗握る。結果はどうであれ、終わった後の一周ラン。勝っても負けても全員が笑顔。これが最高。

・全校種目。1位でも2位でも3位でも、最後までみんな頑張っていて、それを全員で応援する姿は感動的だ。競技だから勝ち負けはあって当然。勝てばうれしいし、負ければ悔しい。これも当然。優勝したいのも自然な気持ち。でも、たとえ何位であっても、一生懸命にがんばった自分や仲間を悪く言う者は一人もいない。「西小は大きな家族」。またひとつお互いに理解し合い、より絆が深まった。

・「西地区を元気にしたい」。今日何度も繰り返された言葉である。小学生がこんなことを考えているのである。なんとも頭が下がる。校長としてよりも、同じ西地区の住民として、子どもたちが地区のことを一生懸命に考えてくれていることが、なによりもうれしい。確かにその通り。子どもが元気であれば地区にも活力が生まれる。子どもの笑顔は大人をも笑顔にする。西小の子どもたちは学校の宝であると同時に、地区の宝でもある。子どもも大人も一緒に集い、みんなが笑顔になる場をもっともっと創りたいと心から思う。

・閉会式を終え、色組ごと集まる。6年生がともに頑張った下級生に感謝を述べる。その集会が終わるその時、5年生がすっと立ち上がる。“ちょっと待ったあ”そして、6年生への感謝の応援をする。絆ってこういうこと。まさに「西小は大きな家族」だ。